

会議結果報告書

1 会議名	平成 30 年度第 1 回環境指導員地区会議（浜須賀地区）
2 日時	平成 30 年 5 月 23 日（水）14：00～15：30
3 場所	浜須賀会館 1F 大広間
4 出席者	<p>（環境部）野崎部長  （資源循環課）熊澤課長、添田主幹  （環境事業センター）小室所長、小俣担当課長、加藤所長補佐、安齋担当主査、山口技能労務統括主査、小川技能労務統括主査、石井技能労務統括主査  （市民自治推進課）疋田主任  （浜須賀地区まちのちから協議会役員）参加人数：3 人  （浜須賀地区環境指導員）参加人数：18 人</p>
5 内容	<p>本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <p>●これまでのごみの減量の取組みについて、その資料や内容について教えて欲しい。  →後ほど資料をお渡しさせていただく。</p> <p>●自治会向けの意見交換会は平日の日中のみとなるか。  →平日の日中はもちろんのこと、平日の夜間、夜間を含めて土日祝日の実施も可能である。</p> <p>●戸別収集に関して、自治体によって内容は異なるか。  →本市で、どのように戸別収集が実施できるか、今まさに検討を行っているところである。</p> <p>●いつ聞いても検討中ではないか。  →平成 30、31 年度でしっかりと検討を行っていきたいと考えている。</p> <p>●ごみの中では、生ごみの占める割合が高いとのことであったが、コンポストの補助はいくらか。  →コンポストは約 8 割引でご購入いただける。また、家庭用生ごみ処理機については、上限額を 25,000 円として、購入金額の 3 分の 1 を補助している。</p> <p>●有料化と戸別収集を併せて導入している大和市や藤沢市にヒアリングを行ったか。  →大和市については、導入が早かったこともあり、当時の様子を伺うことは難しいのが現状である。また、藤沢市については、有料化と戸別収集を併せて導入することで検討を行っていたとのことであり、併せて導入した結果、ごみの減量を達成でき、そのことに伴い、二酸化炭素排出量も削減でき、費用負担に対する不公平感についても</p>

解消出来たと聞いている。

●資源物の戸別収集をどのように考えているか。

→資源物について、プラスチック製容器包装類は、少なからずカラス被害があることをふまえ、検討を行っていきたい。

●自治会への加入促進や本市特有の道路事情もあることから、有料化のみを導入し、ステーション方式によるごみの収集は続けて欲しい。

以上